

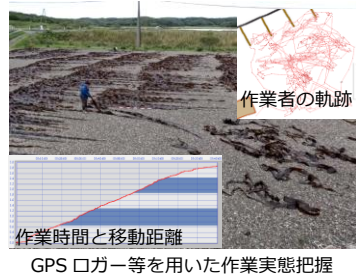
令和 8 年（2026 年）10 月 21 日

令和 7 年度における道総研の主な研究成果をご紹介します

下記に抜粋した取組を含め、それぞれの研究分野より、のべ 24 件の研究成果をとりまとめました。成果概要については資料をご覧ください。

『ICT で進める産業の生産性向上』

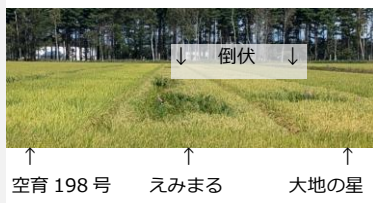
別添 P1



北海道の地域特性を反映した省力化技術の開発に取り組みました。

『直播栽培に向く美味しい水稲』

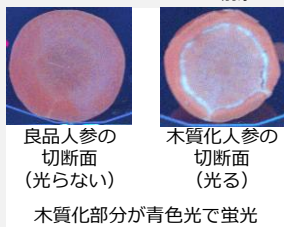
別添 P4



多収で食味が良く、直播では倒伏が少なく安定生産が可能な品種「空育 198 号」を開発しました。

『青色光と AI を用いた木質化人参判別装置の開発』

別添 P17



人参の上部切断面に青色光を照射し、画像解析により木質化を判別する技術を確認しました。

『酒粕の風味を活かした粕漬チーズの開発』

別添 P18

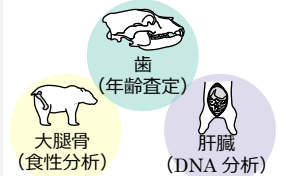


左：漬け込み中のチーズ
右：粕漬けチーズ断面

特徴的な風味を持つ粕漬けチーズの製造方法を開発しました。

『ヒグマの生息およびあつれき動向の把握』

別添 P20

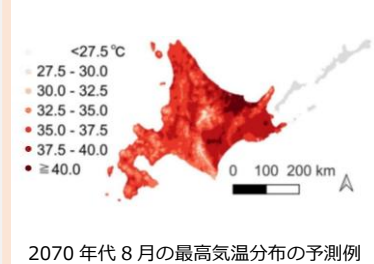


捕獲個体から得られる試料と分析内容

試料の分析や現地調査等により、生息動向や出没個体の履歴を明らかにしました。

『気候変動適応に向けたデータ解析』

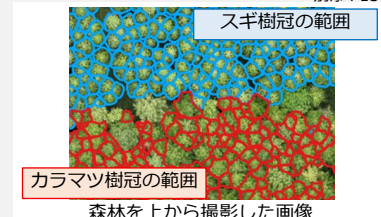
別添 P3



将来の気候予測とともに、農林業への影響評価を行いました。

『AI 等を活用した森林資源量推定』

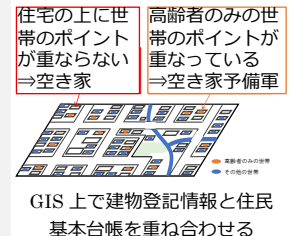
別添 P13



開発 AI で上空から主要人工林樹種判別や、樹冠（枝の広がり）検出し、その結果を基にサイズ計測が可能になりました。

『空き家・空き家予備軍の実態把握ツールの開発』

別添 P22



空き家・空き家予備軍を特定し、空き家の流通ポテンシャルを推計しました。

お問合せ

地方独立行政法人北海道立総合研究機構法人本部
研究推進部研究推進グループ（担当：秋野、大久保）
電話 011-747-2812
E-mail hro-info1@hro.or.jp